



博物館・展示設計・展示制作・文化施設向けテクノロジー

会社案内 2026



PROYECTO MUSEO

Rembrandt: Lo divino y lo humano - Museo Internacional del Barroco, Puebla



コレクション、建築、光、テクノロジー、そして人の動きを、一つの体験として構成する。

博物館と展覧会のための学際的な専門実践

Proyecto Museoは、Ricardo Linaresが設立・主宰する、博物館・展示設計と展示制作の学際的な専門チームです。

私たちは、研究と知識が空間へ変わる地点で仕事をします。コレクション、建築、光、音、テクノロジー、来館者動線を一つの設計ロジックで統合し、解説を後付けするのではなく、展示そのものに組み込みます。

常設博物館、国際貸出を伴う展覧会、考古学・歴史遺産サイト、現代美術インスタレーション、ビジターセンター、デジタル解説を手がけます。各プロジェクトは、コレクション、来館者、建物、運用条件に基づいて組み立てます。

知識

空間

光

テクノロジー

来館者

私たちの違い

形式表現に先立つ知的構造。

分野を横断する一貫した方向性。
開幕から運用引き渡しまで実現可能な解決策。

コンセプトから一般公開まで

解説計画

調査、物語構造、来館者動線、コンテンツの階層化。

博物館・展示設計

空間構成、展示室計画、グラフィック、詳細設計。

照明・メディア

保存に配慮した照明、視聴覚システム、インタラクティブ、音響。

展示システム

展示ケース、支持具、台座、バリア、家具、作品ごとの専用支持。

展示制作・施工

製作調整、現地施工、試験、設営、開幕対応。

プロジェクト統括

予算、工程、多分野調整、品質管理、引き渡し。

変化する条件下での精密な設計

企画展には、明確でありながら可逆性を備えた展示空間が必要です。展示の個性はコレクションを支えつつ、それを圧倒してはなりません。同時に、保存、安全、動線、アクセシビリティ、開催館の運用条件は妥協できない要件です。

Proyecto

Museoは、紙作品、オールド・マスターおよびヌエバ・エスパーニャ期の絵画、装飾芸術、テキスタイル、楽器など、国際貸出を伴う展覧会を手がけてきました。展示室計画、作品配置、照明、グラフィック、視聴覚解説、専用展示システム、製作、設営、キュレーション・レジストレーション・保存チームとの調整を統合します。

主な分野

紙作品

国際貸出

ヌエバ・エスパーニャ期絵画

装飾芸術

テキスタイルと歴史的室内

立体コレクション

Rembrandt: Lo divino y lo humano

Rembrandt: Lo divino y lo humanoでは、Proyecto Museoは抑制を基調とする展示環境を構成しました。作品の親密なスケールと繊細な階調に応えるため、不要な演出を加えず、鑑賞への集中を高める空間言語を採用しました。

深い青の壁面が静かな視覚領域をつくり、角度をつけた自立壁が圧縮、間、段階的な発見を生み出します。制御された照明は版画の繊細な表現を保ち、タイポグラフィと解説要素は意図的にコレクションより控えめにしました。

その結果、各版画を個別に鑑賞しながら、公共展示としての建築的連続性を失わない動線が生まれました。



MUSEO INTERNACIONAL DEL BARROCO · PUEBLA, MÉXICO

イスラム装飾芸術

Musée des Beaux-Arts de Lyon 所蔵作品

写真：Projecto Museo アーカイブ

より広い歴史地理を示す物質的証拠としての作品

本展は、Musée des Beaux-Arts de Lyonから、陶磁器、金工、写本絵画、書、儀礼用・生活用の品々を集めた国際展です。

Proyecto

Museoは、各作品を個別の造形として認識できると同時に、形態、技法、信仰、素材が広域に流通した歴史の一部として読める、暗く慎重に調整した展示環境を構成しました。陶磁器には深い背景を用いて色と輪郭を際立たせ、金属作品は専用支持具に設置し、不要な反射を避けながら彫刻面が読めるよう照明しました。

作品ごとの展示条件、保存に配慮した照明、専用支持具、グラフィック解説、国際コレクション調整を一体化したプロジェクトです。



親密さと記念碑性を両立する展示空間

Cristóbal de Villalpandoの作品には、近接鑑賞と圧倒的なスケールの双方を受け止める展示空間が必要です。

Proyecto

Museoは、小型作品が主題と視覚の基礎をつくり、その後、巨大なカンヴァスへ出会う順序を構成しました。落ち着いた青緑色の壁面は、金色の額縁、鮮やかな顔料、複雑なバロック構図を引き立てる連続した背景となります。

課題は力強い博物館建築と競うことなく、比例、距離、視線、調整された照明によって作品を支えることでした。来館者は人物と信仰物語の密度から、Villalpandoの絵画的想像力が持つ圧倒的なスケールへ移行します。





肖像画から読むヌエバ・エスパーニャのテキスタイル

個別の作品から社会全体の世界へ

Hilos

virreinalesは、肖像画に描かれた織物を単なる付属要素としてではなく、身分、信仰、交易、技術、文化交流を示す物質的証拠として捉えました。

Proyecto

Museoは、この考えを異なるが相互につながる展示環境へ翻訳しました。絵画、典礼服、刺繍衣装、家具、信仰用具、装飾芸術、歴史的テキスタイルを組み合わせ、ヌエバ・エスパーニャにおいて外見がどのように構築され、表象されたかを示しました。

一部の展示室は博物館展示としての分析的な明瞭さを保ち、別の空間は歴史的室内の空間論理を採用しました。専用支持具は脆弱な衣装の立体形状を保ち、再構成された室内は、解説と実物資料の区別を失わずに文脈を与えます。



楽器

Musical Instrument Museum, Phoenixからの2つの展覧会

楽器、音、文化的アイデンティティ

2回にわたる国際展示として、Musical Instrument Museum, Phoenixの楽器を、新たな建築的・解説的環境に迎え入れました。

Proyecto

Museoは各楽器を、工芸品、音を生み出す装置、集合的アイデンティティの表現として同時に扱いました。金管、打楽器、弦楽器、儀礼用具、衣装、特殊なスケールや形状を持つ楽器には、それぞれ専用の支持具と展示方法が必要でした。

大型写真と視聴覚メディアにより、ガラス越しの展示で失われがちな人間の存在を再び導入しました。国際貸出の受け入れ、専用支持具の開発、複雑な立体コレクションを既存文化施設へ適合させる能力を示すプロジェクトです。



国際巡回展として提供中

Projecto

Museoは現在、3つの国際巡回展を提供しています。各展覧会について、会場固有の展示設計、照明、アクセシブルな解説、視聴覚メディア、専用家具、製作調整、設営・撤去を独立した専門業務として組み合わせることができます。



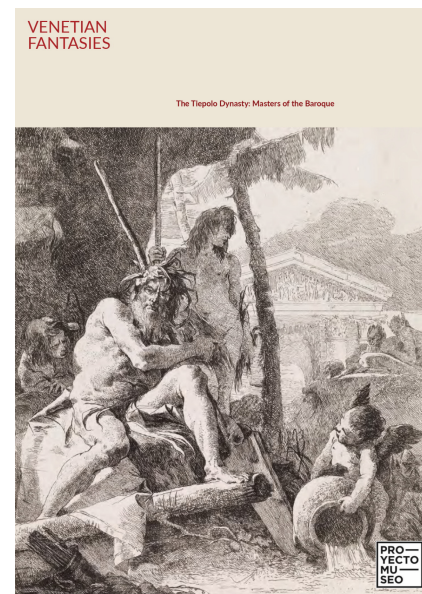
不思議の国のアリス

Dalí · Ernst · Laurencin · Tenniel



Henri Matisse

Art in Balance



Venetian Fantasies

The Tiepolo Dynasty

長期的な文化基盤としてのミュージオグラフィ

常設博物館は知識に空間的な形を与えると同時に、長期にわたり理解しやすく、維持管理でき、変化に適応できる必要があります。Proyecto

Museoは、コレクションと建物の条件に即して、解説、建築、保存、動線、光、音、テクノロジー、制作を調整します。

歴史的建築

原建物を尊重し、建築そのものをコレクションの一部として読めるようにする解説。

考古学的景観

発掘された遺構、物質的証拠、サイトの文脈と直接関係づけて構想する博物館。

複数館からなる文化施設

異なる機関を、解説、テクノロジー、保守の共通基準で調整。

市民博物館・歴史的住宅博物館

公共の記憶、生活文化、制度の歴史を現代的な展示システムで表現。



歴史的病院建築に整備した総合博物館

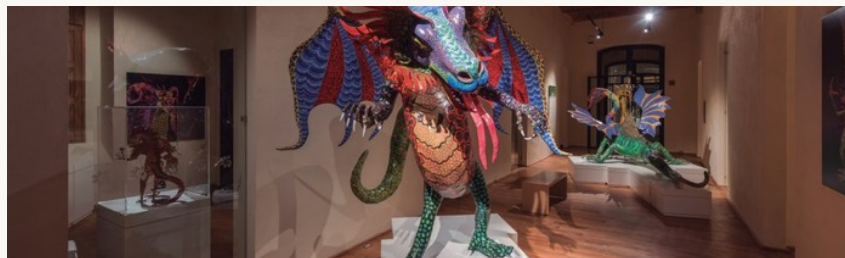
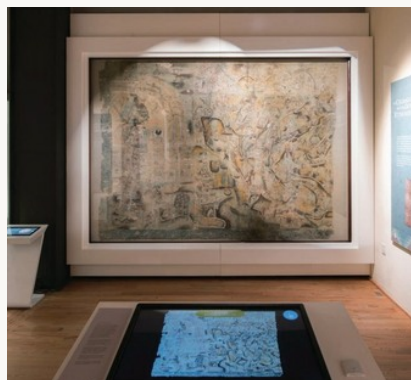
大ピラミッドの麓で読み解く文化的景観

旧Hospital de Nuestra Señora de Guadalupeに設けられたMuseo Regional de Cholulaは、約3,000平方メートルの空間に、メキシコを代表する文化的景観の一つに関わる考古・歴史・美術コレクションを収蔵しています。

Proyecto

Museoは解説コンセプトを策定し、調査を調整し、博物館シナリオを作成して、整合した空間・テクノロジーの言語へ展開しました。業務には展示室、保存仕様の展示ケース、専門照明、作品支持具、専用家具、マルチメディア、専用ソフトウェアが含まれます。

考古学的証拠、聖なる地理、民衆芸術、歴史資料、現代的解説の違いを保ちながら、それらの間を行き来する展示です。





産業遺産の中に形成された複数館文化施設

異なる博物館を、一貫したシステムとして統合する

産業遺産La Constanica Mexicanaにおいて、Proyecto Museoは音楽、人形、子ども、音響、写真、サイトの歴史を扱う複数の文化機関を整備し、後に改修しました。

対象にはMuseo de la Música Mexicana、Casa del Títere、Museo Infantil、Casa de la Música de Viena、Fonoteca、Fototecaが含まれ、さらに後年の技術改修と5大陸からの楽器輸入を行いました。

各機関には独自の解説・視覚言語が必要でした。一方で施設全体として、動線、保存、メディア、保守、技術的継続性に共通基準が求められました。





考古遺跡博物館

明瞭さ、自然光、物質的 証拠への敬意

考古学的にはNdachjianとして知られるTehuacán Viejoは、ポポロカ文化の政治的、宗教的、商業的重要性を伝えています。



博物館は遺跡そのものと発掘遺構のスケールに直接関係づけて構想されました。自然光に満ちた展示室、透明な展示ケース、抑制されたグラフィック解説が、石彫、陶器、考古資料を競合せずに際立たせます。



これはProyecto Museoの別の表現領域を示すプロジェクトです。建物の明るさ、景観の存在、作品の物質的密度が読み取れる、視覚的な静けさを持つ空間をつくりました。



歴史的住宅と市民の記憶 - 建物そのものがコレクションの一部

歴史的室内では、ミュゼオグラフィは原建物、解説のための再構成、現代的メディアを区別する必要があります。Proyecto Museoは、物語を理解する基盤となる感情的・建築的特性を保ちながら、歴史的住宅や市民博物館を更新してきました。



Casa de la Familia Serdán

Museo de la Revolución Mexicana。生活空間、政治的記憶、音響、映像投影、ホログラフィック表現、新設の企画展示室。



Casa de Alfeñique

19世紀の生活、家具、Talavera陶器、交易、食文化、輸入品を通して読み解くバロック様式の邸宅。

コンテンツから選択するテクノロジー

Proyecto

Museoは、テクノロジーを明瞭さの代替ではなく、解説のための媒体として用います。プラットフォームは、プロジェクトの知的・感覚的要件を理解した上で選定し、試験、保守、スタッフ研修、運用引き渡しまでを考慮します。

モバイル解説

二言語音声ガイド、QRアクセス、テーマ別ルート、位置情報付き地図、来館者ナビゲーション。

視聴覚・インタラクティブメディア

解説映像、プロジェクション、没入型音響、タッチインターフェース、反応型インスタレーション。

運用継続性

文書化、分析、環境モニタリング、保守計画、機関スタッフ研修。

媒体は、解説上の課題を理解してから選択します。

音声ガイドとモバイル解説

Proyecto

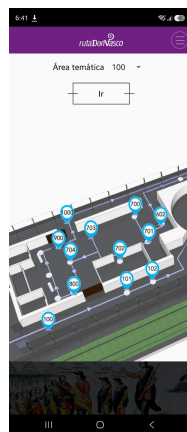
Museoは、展示室の外まで博物館体験を広げる二言語音声ガイドとモバイル解説プラットフォームを設計します。方向案内、テーマ別ナビゲーション、QRアクセス、位置情報付き地図、音声再生、軽量なマルチメディアを統合します。

PátzcuaroのCentro de Interpretación de la Ruta Don

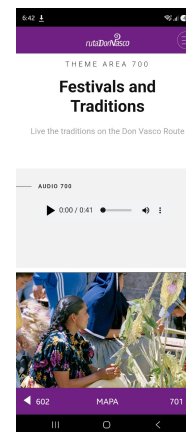
Vasco向け二言語ガイド。テーマ別ナビゲーション、インタラクティブ地図、作品ごとの音声コンテンツを備えます。



二言語ウェルカム



テーマ別地図



音声再生

モバイル解説ケーススタディ

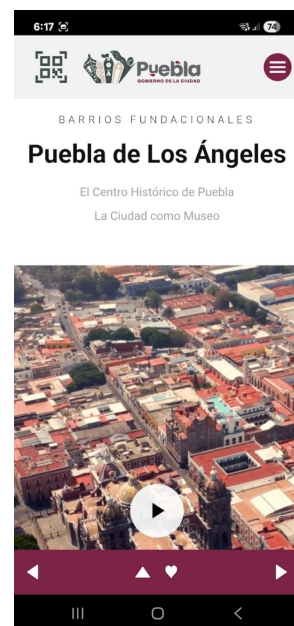
プエブラ歴史地区のために開発した都市遺産プラットフォーム。テーマ別ルート、位置情報付きポイント、QRアクセス、映像、地図による探索を統合し、都市そのものを分散型博物館として機能させます。



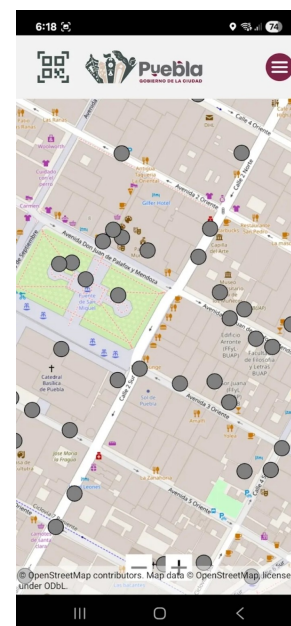
メインメニュー



地区



映像



地図

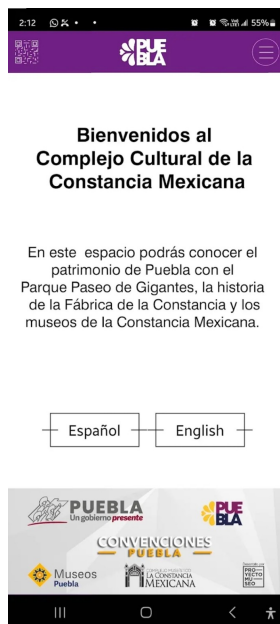
モバイル解説ケーススタディ

La Constanacia

Mexicanaのガイドは、サイトマップ、二言語入口、博物館ごとのナビゲーション、作品別音声を、複数機関からなる文化施設全体に提供します。



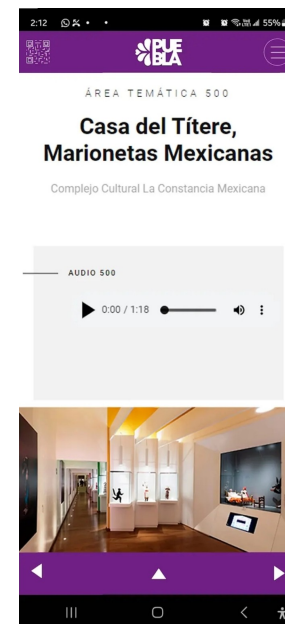
サイトマップ



二言語ウェルカム



ナビゲーションメニュー



作品別音声

歴史的な聖性を持つ空間との現代的な対話

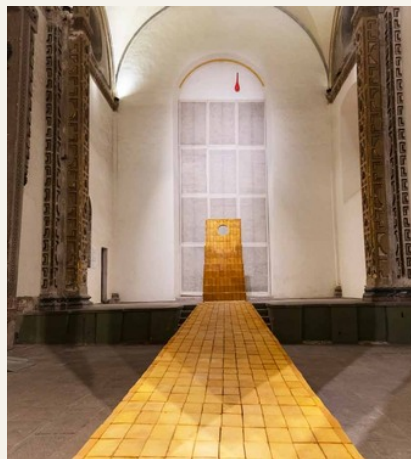
Transverberacionesは、アビラの聖テレサの神秘思想と、展覧会会場となった旧宗教建築との出会いとして構想されました。

彫刻、映像、音、参加型インスタレーションの連続によってEx Teresa Arte

Actualを変容させました。サイトのために制作された作品は、欲望、苦痛、恍惚、死、変容、無限といったテレサ的概念を、アジアの伝統、先スペイン期の記憶、科学イメージ、映画、幾何学、儀礼と対話させます。

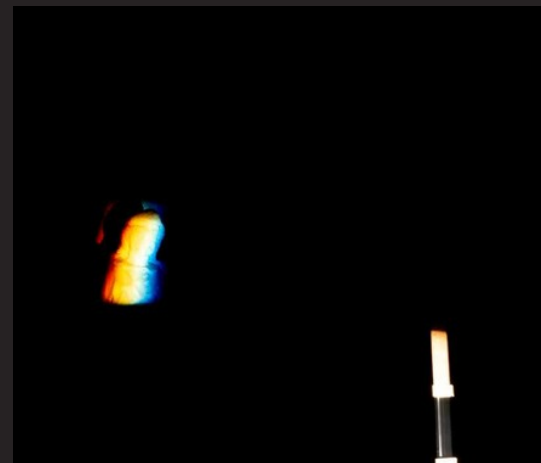
Proyecto

Museoは、建築との正確な関係に意味が依存する作品について、コンセプト開発、博物館展示設計、技術監修、制作支援に参加しました。



彫刻・音・鏡・プロジェクション・光

展示そのものを体験可能な作品へ



Ricardo Linares

ミュゼオグラファー／展示設計者・MBA

Ricardo

Linaresは、文化分野、建築、産業デザイン、複雑なプロジェクト実施にわたり、メキシコとイタリアで経験を積んだミュゼオグラファー／展示設計者、プロジェクトディレクターです。

2016年にProyecto

Museoを設立する以前、CesenaおよびEmilia-Romagnaで10年以上にわたり、サステナブル建築、都市開発、ホスピタリティ、産業施設、多分野プロジェクトを統括しました。それ以前のメキシコでの経験には、建築、建設、文化遺産分野の実務、およびINAHやLegorreta Arquitectos等との協働が含まれます。

学歴・専門形成は、Universidad de las Américas Pueblaでの建築学、Tecnológico de Monterreyでの施工管理大学院課程、ヌエバ・エスパニーヤの美術・建築に関する上級研究、Sapienza University of Romeを通じたイタリアでの専門資格、ComoのeCampus UniversityでのMBAを含みます。

その方法論は、知識、空間、テクノロジー、制作を一つの説明責任あるプロセスとして統合するという考えに基づいています。

メキシコ+イタリア

文化、建築、産業分野にまたがる実務経験。

プロジェクト統括

コンセプト、設計、予算、多分野調整、引き渡し。

言語

スペイン語・イタリア語・英語・フランス語（実務レベル）

主な受賞

Active Architecture Award, 2010

機関、博物館、コレクションパートナー

Proyecto

Museoは公共機関からの業務を実施し、博物館、研究機関、文化機関、国際的なコレクションパートナーと協働してきました。これらには、専門サービス、コレクションを基盤とする展覧会、機関間協働、技術実装が含まれます。

- Musical Instrument Museum, Phoenix, Arizona
- Haus der Musik, Vienna, Austria
- Musée des Beaux-Arts de Lyon, France
- Secretaría de Cultura, Gobierno de México
- Instituto Nacional de Bellas Artes y Literatura (INBAL)
- Instituto Nacional de Antropología e Historia (INAH)
- Fonoteca Nacional
- Centro Nacional de Investigación, Documentación e Información Musical (CENIDIM)
- Instituto Nacional de los Pueblos Indígenas (INPI)
- Museo Nacional de Culturas Populares
- Laboratorio Arte Alameda
- Museo Ex Teresa Arte Actual
- Senado de la República
- Museo Internacional del Barroco

主なクライアントと公共部門での実績

以下は、Proyecto

Museoの現行経歴資料に記載された主なクライアントと機関関係に、近年の業務および学術パートナーを加えて整理したものです。

- Fomento Cultural Banamex / Fomento Cultural Citibanamex, A.C.
- Gobierno del Estado de Puebla
- Poder Judicial del Estado de Puebla
- Secretaría de Cultura del Estado de Puebla
- Museos Puebla
- Convenciones y Parques
- Ayuntamiento de Puebla
- Instituto Municipal de Arte y Cultura de Puebla
- Gobierno del Estado de Michoacán
- Secretaría de Turismo del Estado de Michoacán
- Secretaría de Cultura del Estado de Michoacán
- Centro Cultural Clavijero
- Instituto Veracruzano de la Cultura (IVEC)
- Secretaría de Turismo y Cultura del Estado de Morelos
- Dirección de Museos del Estado de Morelos
- Universidad Autónoma de San Luis Potosí (UASLP)
- Museo Urbano Interactivo (MUI), Tecnológico de Monterrey, Campus Puebla
- Tecnológico de Monterrey
- Universidad Anáhuac Puebla
- Museo Miratoyac
- Centro de Desarrollo Cultural, Chihuahua
- 私立大学
- 民間の文化・企業組織

米国での業務 米国では、Proyecto

Museoは展示設計、ミュゼオグラフィ、文化施設向けテクノロジー、展示制作、展示空間のインテリア業務を提供します。建築

・エンジニアリング等の規制対象業務を含む場合、該当する法域で適切な資格を有する専門家が実施または調整します。



博物館・展示設計・展示制作・文化施設向けテクノロジー

Ricardo Linares

創設者・代表

メキシコ、プエブラ州サン・アンドレス・ Cholula

info@proyectomuseo.com

+52 222 966 1111

proyectomuseo.com